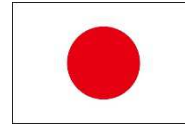




2018



第 17 回 ノルウェー フレンドシップ ヨットレース ディンギー部門 OP クラス(オプティミスト級) 帆走指示書

1. 規則

- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則 2017-2020』に定義された規則が適用される。
- 1.2 和文と英文との間で矛盾が生じた場合には、英文が優先する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、陸上本部(江の島ヨットハウス会議室 A1)に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 9:00 までに掲示される。ただし、第 2 日目のレース日程の変更は、第 1 日目の 18:00 までに掲示される。

4. 陸上で発せられる信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は、ヨットハウス 2F のフラッグポールに掲揚される。
- 4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1 分」を「30 分以降」と置き換える。
- 4.3 音響 1 声と共に掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗の掲揚後 30 分以降に発せられる。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

5. レース日程

5.1 レース日程

4 月 21 日(土)

| | |
|-----------|----------------|
| 7:30~8:30 | 艇搬入 |
| 8:00~8:30 | 受付(会議室 A1) |
| 8:45~9:00 | 開会式(同上) |
| 9:55 | OP-A 第1レース予告信号 |
| 10:00 | OP-B 第1レース予告信号 |
| | 引き続き第2レース以降を行う |

4 月 22 日(日)

| | |
|------|----------------------|
| 9:25 | OP-A その日の最初のレースの予告信号 |
| 9:30 | OP-B その日の最初のレースの予告信号 |
| | 引き続きレースを行う |

13:00 より後には、予告信号を発しない。

15:00～

表彰式 & パーティー(ヨットハウス 2F)

5.2 大会レース数は、6 レースとする。

5.3 1 つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に、音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗をレース委員会の信号船に掲揚する。

6. クラス旗

| クラス | 旗 |
|--------------|------------------|
| OP-A (中級、上級) | OP マーク+A(白地に黒文字) |
| OP-B (初級) | OP マーク+B(赤地に黒文字) |

7. レース・エリア

レース・エリアは、レース海面図の七里ヶ浜沖 B1 海面とする。

8. コース

- 8.1 添付の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちらに見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会の信号船に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 8.3 コースは、スタート→1 マーク→2 マーク→3 マーク(3S/3P)→フィニッシュとする。

9. マーク

- 9.1 マーク 1、2、3S、3P は、オレンジ色の円筒形のブイとする。
- 9.2 スタート・マークは、スターボードの端に位置するノルウェー国旗を掲揚するレース委員会の信号船とポートの端に位置するオレンジ色旗を揚げたブイとする。
- 9.3 フィニッシュ・マークは、スターボードの端に位置する青色旗を掲揚するレース委員会の運営船とポートの端に位置するオレンジ色旗を揚げたブイとする。

10. スタート

- 10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。
- 10.2 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。[DP]
- 10.3 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』と記録される。これは RRS 付則 A4 と A5 を変更している。
- 10.4 OP-B のスタートには、RRS 30(スタートのペナルティー)は適用されない。

11. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、フィニッシュ・ラインを新しい位置に移動することがある。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上に「オレンジ色旗」を掲揚しているポールの間とする。これは、RRS 32.2 が実施される場合は適用されない。

13. ペナルティー方式

RRS42 に対する特別な処置として、RRS 付則 P が適用されるが、RRS P2.3 は適用されず、RRS P2.2 を変更し、2 回目以降のペナルティーには P2.2 が適用されるものとする。

14. タイム・リミット

最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』と記録される。これは、RRS 35、A4、A5 を変更している。

15. 抗議と救済要求

- 15.1 抗議する時には、最初の適当な機会に”プロテスト“と声をかけ、フィニッシュ後にフィニッシュボードのスターボード側から運営に対してその意思と対象艇を伝えなければならない。なお、フィニッシュ後、レース委員会に対してその意思を伝えるまでの間に支援艇の乗員とはいかなる接触もしてはならない。この項は、RRS62.1(a)を変更している。
- 15.2 抗議書は、陸上本部で入手できる。抗議、救済要求および審問の再開の要求は、適切な時間内に陸上本部に提出されなければならない。
- 15.3 すべてのクラスに共通で、抗議締切時間は、その日の最終終了クラスの最終レース終了後、またはレース委員会がこれ以上レースを行わないという信号を発した後、60 分とする。
- 15.4 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるために、抗議締切時間後 15 分以内に通告が掲示される。審問は、陸上本部にある審問所にて掲示された時刻に始められる。
- 15.5 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の公示を RRS61.1(b)に基づき伝えるために抗議締切時間までに公式掲示板に掲示する。
- 15.6 SI 13 に基づき RRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。
- 15.7 SI 10.2、17、21、23 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは RRS 60.1(a)を変更している。

16. 得点

- 16.1 本大会の成立には、最少 1 レースの完了が必要である。
- 16.2 (a) 4 レース未満しか完了しなかった場合、艇の大会得点は、レース得点の合計とする。
(b) 4 レースから 6 レースまで完了した場合、艇の大会得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

17. 安全規定

- 17.1 出艇、帰着申告を適用する。競技者は陸上本部に用意した申告書に予告信号の 60 分前から 20 分前および帰着後に速やかに本人がサインすること。この指示に従わない競技者には、審問なしにその日のすべてのレースに 5 点ペナルティーが課される。この指示に基づくペナルティーに対する得点の略語は、PFP とする。この項は、RRS 63.1 を変更している。
- 17.2 レースからリタイアした艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 17.3 競技者は水上にいる間は、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、必ず個人用浮揚用具を着用していなければならない。これは RRS 40 を変更している。
- 17.4 救助を求めるときには、手のひらを広げて大きく振ること。
- 17.5 レース委員会、テクニカル委員会とプロテスト委員会は、参加者の意志に関係なく救助することがある。
- 17.6 レース委員会の運営船にN/H旗、N/A旗、AP/H旗またはAP/A旗が揚げられたときには、速やかにハーバーに帰り、SI 17.1 に従い帰着申告を行わなければならない。

18. 装備の交換 [DP]

損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に行われなければならない。

19. 装備と計測のチェック

- 19.1 艇または装備は、レース委員会またはテクニカル委員会のメンバーにより、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上で艇は、レース委員会またはテクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。
- 19.2 SI 19.1 はOP-Bクラスには適用されない。

20. 運営艇

- 20.1 運営艇の標識は、黄色旗とする。
- 20.2 プロテスト委員会の乗艇する艇の標識は、白地に黒文字で『PROTEST』を記された旗とする。

21. 支援艇 [DP]

- 21.1 支援艇は、レース委員会より支給されるピンク色旗の標識をつけなければならない。
- 21.2 チーム・リーダー、コーチその他の支援者は、下記の指示に従うものとする。
 - ・OP-B艇に対しては、安全・指導のため常時支援すること。ただし、OP-A艇の障害になってはならない。
 - ・運営艇に緑色旗が掲げられた場合には、「すべての支援艇はコース内に入り救助活動をせよ」を意味する。
 - ・運営艇に緑色旗が掲げられていない場合には、OP-B艇の支援時以外は「最初にスタートするグループの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをして

いるエリアの 100m以上外側にいなければならないこと」を意味する。

22. ごみの処分 [DP]

ごみは、支援艇またはレース委員会艇に渡してもよい。

23. 無線通信 [DP]

緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

ただし、コース取りの勉強のため、GPSコース記録装備は、事前に申請があった場合許可される。レース中、GPS を操作したり、画面に表示された数値を読み取ったりしてはならない。

24. 賞

賞を次の通り与える。

- 1) ノルウェー杯(バイキングシップ・持ち回り杯): OP-A総合 優勝
- 2) 湘南なぎさパーク杯(取り切り): OP-A総合 優勝
- 3) 1位～6位: 賞を与える(OP-A総合、OP-A 小学生、OP-B)
- 4) OP-A 総合上位者より 2018 年OP全日本選手権出場資格を申請予定。

25. 責任の否認

このレガッタの競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS 4[レースすることの決定]参照。

主催団体、レース委員会またはこの大会に関わる運営役員、ボランティアは、競技者の大会前後、期間中に生じた物的損傷または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

26. 保険

参加者は当日有効なスポーツ保険に各自加入していなければならない。運営への支援者も同様である。

添付

図-1 OP クラスのコース図

